ポータブル電動スクーター **Jzoom**

取扱説明書

(モデル: Zoomer/ZoomerX)

Jzoom をご購入頂きありがとうございます。

この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

目次

主要部のなまえ **3**

安全上のご注意 **4**

製品説明 **5**

折りたたみ段階 5

折りたたみ手順 6

開き手順 7

操作方法 **8**

ハンドルバーの紹介 8

操作手順 8

ディスプレイ出荷時設定 10

乗り方 **11**

準備 11

こぎ出し方 11

止まり方 11

バッテリーと充電器 **12**

バッテリー 12

充電器 12

充電方法 12

お手入れ **13**

潤滑油 13

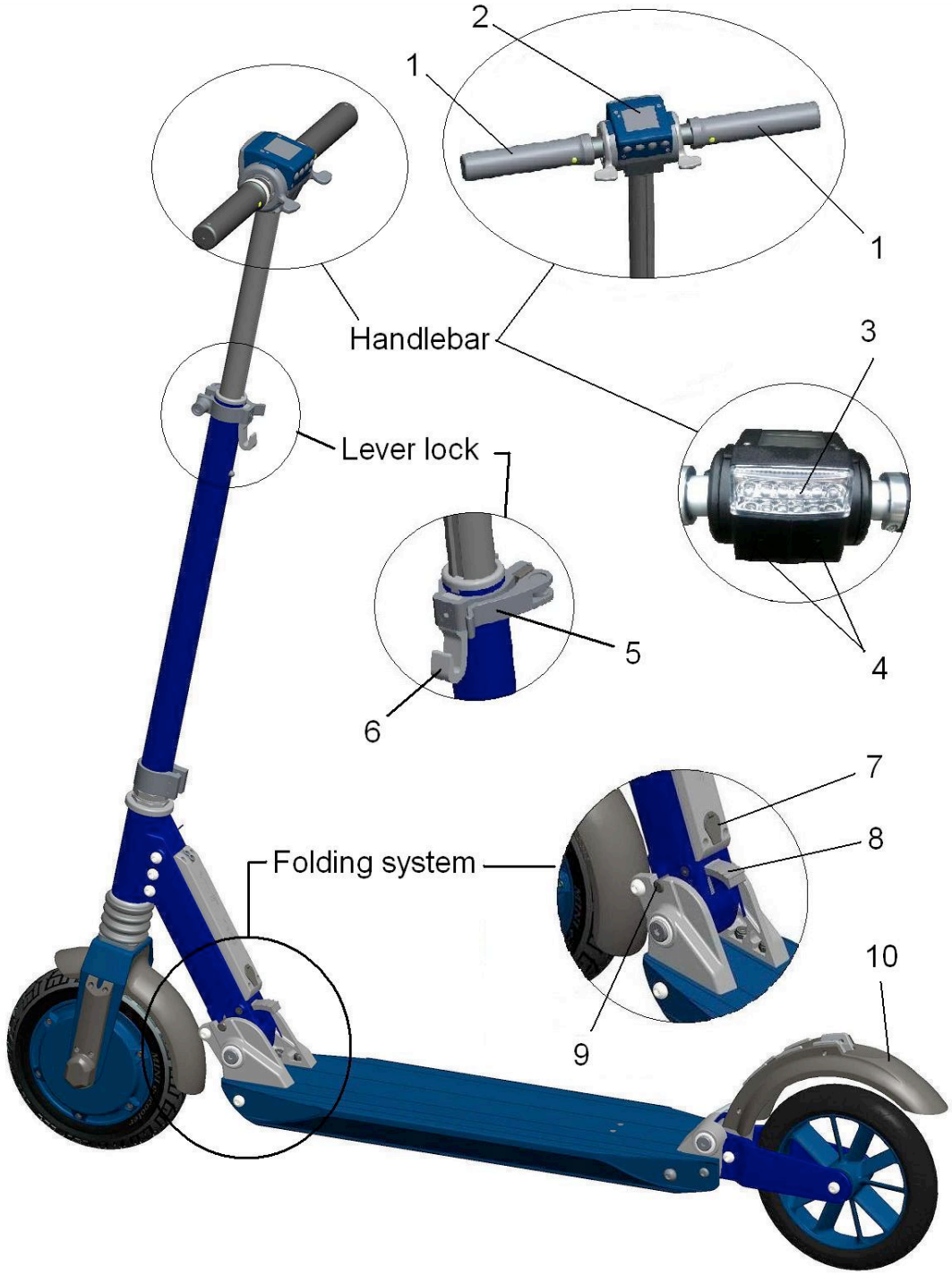
バッテリー 13

保管と日常のお手入れ 13

定期点検 **14**

製品仕様書 **15**

主要部のなまえ



1. ハンドルバー
2. UBI (ディスプレイ等)
3. LED ヘッドライト
4. クラクション
5. 固定レバー
6. 折りたたみフック
7. バッテリー充電器差し込み口
8. 折りたたみレバー
9. 固定ボルト
10. 後部ブレーキ

安全上のご注意

1. Jzoom は成人一人乗り用です。二人乗り・未成年者のご使用はお控え下さい。
2. ヘルメット、その他保護具を着用のうえお乗り下さい。
3. 車道や危険な道では使用せず、交通安全ルールを守りましょう。
4. 広い場所で練習をし、操作に慣れてからお乗り下さい。
5. 足は常にスクーターに乗せ、片手乗り等の危険行為をしながらの走行はお止め下さい。
6. 3cm 以上の段差を走行しないで下さい。スクーターが転倒し怪我をする恐れがあります。また 3cm より低い段差も避け、平らな場所でご使用下さい。
7. Jzoom の最高時速は 28km です。安全にご使用頂くため、時速 20km に制限し、夜間走行はお避け下さい。夜間走行をする際は、時速 15km 以下に抑え、ヘッドライトを点灯してご使用下さい。
8. 気温が 5℃を下回る時にはご使用をお控え下さい。
9. 凸凹等の劣悪な道路状況では減速するか、降りて押して歩いて下さい。
10. 油や氷に覆われた場所でのご使用はお控え下さい。
11. 身長に合わせて、ハンドルバーを調整のうえ、安全走行をご確認下さい。
12. 電気部品の損傷を防ぐため、4cm 以上の深さの水に浸したり、直接水をかけたりしないで下さい。
13. 土砂降りや強風等の悪天候の際は、ご使用をお控え下さい。

製品説明

折りたたみ段階

A – 折りたたまれていない状態

B – ハンドルバーが折りたたまれた状態

C - 完全に折りたたまれた状態

折りたたみ手順

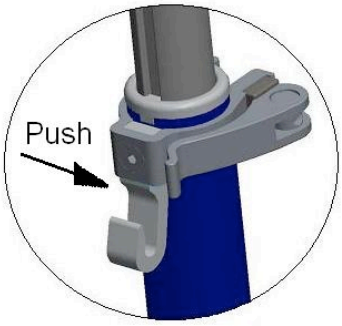
1. 下図(a)の矢印の方向に固定レバーを開きます。

2. 下図(b)の赤いボタンを押し、同時に下図(c)のハンドルバーを押し下げ、固定レバーをロック位置まで押します。

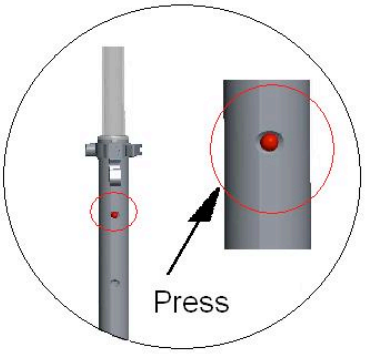
3. ハンドルバーを両手で持ち、下図(d)のボタン 1 を押します。
ハンドルバーのグリップを下図(d)の 2 の方向に最大限引き抜き、前頁図 B のように下方に折りたたみます。

4. 下図(e)のハンドルバーを前方に倒し、下図(f)の矢印の方向に折りたたみレバーを押し下げます。

5. 折りたたみフックが後部ブレーキにあるボルトに引っ掛かるまでスクーター本体を折りたたみます。

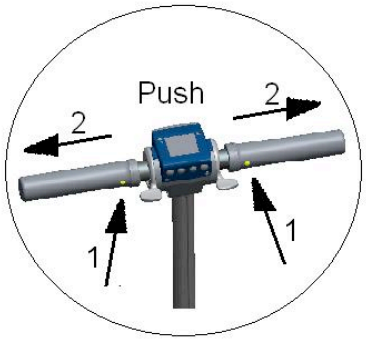


a

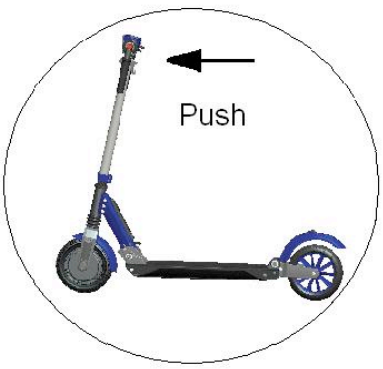


b

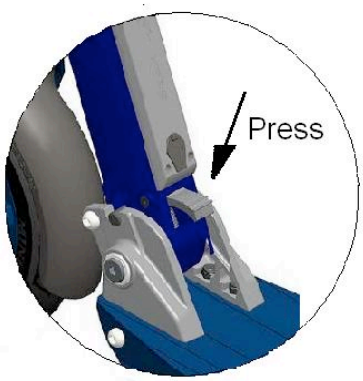
c



d



e



f

開き手順

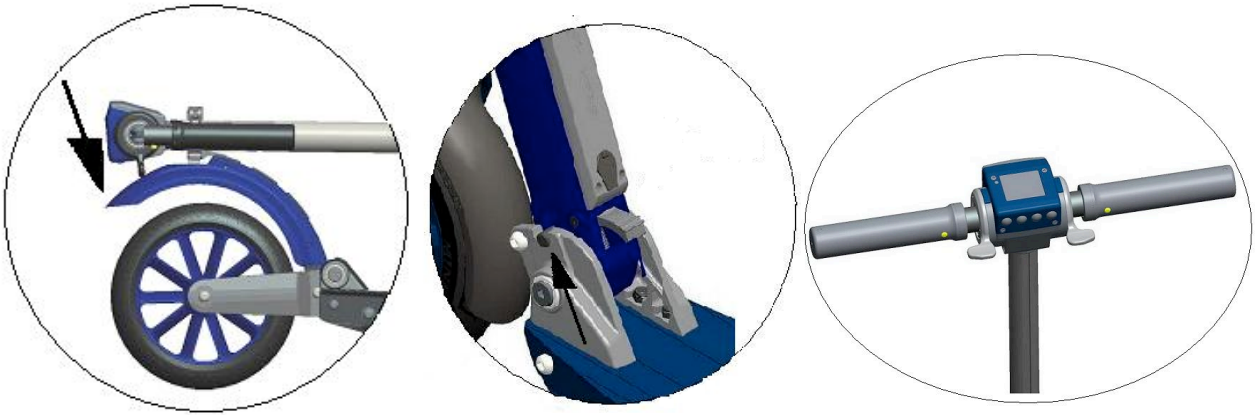
1. 折りたたみフックが後部ブレーキにあるボルトから取り外されるように、下図(a)の矢印の方向に後部ブレーキを押し下げます。

次に、ハンドルバーを作動位置まで持ち上げ、下図(b)の固定ボルトを所定の位置に戻します。

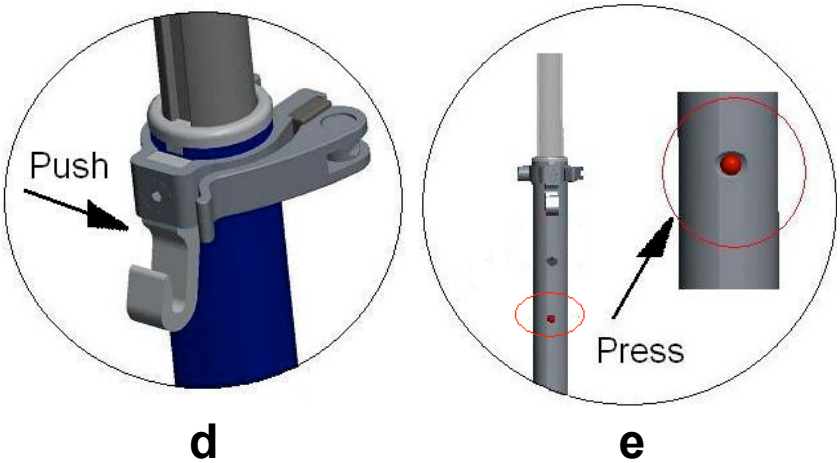
2. 下図(c)の作動位置まで自動的に戻るところまでハンドルバーの両ハンドルを上げ起こします。

3. 下図(d)の矢印の方向に固定レバーを押し、ハンドルバーを希望の高さまで引き上げます。

次に、下図(e)のボタンを押し、 2 つある穴のうちのどちらかで固定します。



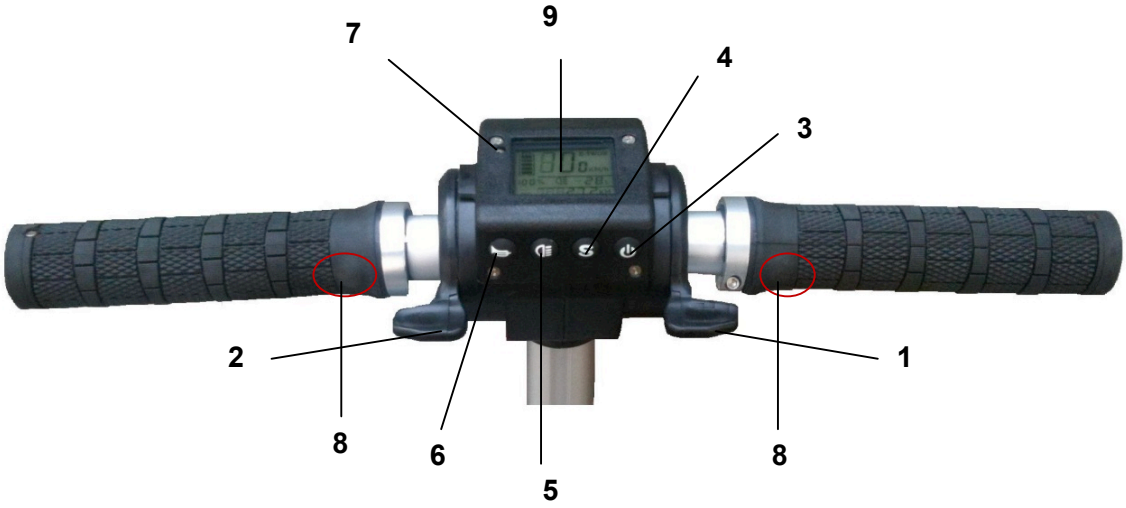
a **b** **c**



d **e**

操作方法

1. ハンドルバーの紹介



1. 親指用アクセル
2. 親指用電子磁気ブレーキ
3. スイッチボタン
4. 設定ボタン
5. ライト電源ボタン
6. クラクションボタン
7. LED ヘッドライト
8. ハンドルバー折りたたみボタン
9. ディスプレイ

2. 操作手順

a. 電源

スイッチボタンを 1 秒間押すとディスプレイの照明設定に power on と表示されます。切りたい場合は 3 秒間押します。3 分間使用していない時は自動で消えます。

b. スピード調節

スピード(時速 1-25km)を調節するには右側の親指用アクセルを押します。

c. ブレーキ調節

左側の親指用電子磁気ブレーキを押します。深く押すほど、ブレーキの力は強まります。

d. クラクション

電源が入っている状態でクラクションボタンを押すと鳴ります。

e. LED ヘッドライト

手動モード:ライト電源ボタンを押すと、ディスプレイに the light is turn on と表示されます。消す際は、再度ボタンを押します。

オートライトモード:Jzoom にはライトの必要性を検知するセンサーライトが装備されています。センサーが十分な光を検知できない場合、ライトは自動点灯します。

例: 曇っている時、オートライトモードにすると、ライトが点灯します。光量が適切になると、オートライトモードが光を検知し、5 秒後にヘッドライトが消えます。

オートライトモードでは、周囲の光の状況に応じて、ディスプレイも点灯します。ライト電源ボタンを押すことで手動モードに切り替えられます。

f. 走行距離表示

電源オフの状態では時刻が表示されます。

電源オンの状態では積算距離・走行距離・走行時間の 3 つが表示されます。設定ボタンを押すと表示内容が切り替えられます。

走行距離は、設定ボタンを 3 秒押すと消去されます。

g. 緊急時

緊急時、後部ブレーキを踏むと前部電子磁気ブレーキと後部車輪摩擦ブレーキが同時に作動します。通常時には、車輪損傷を避けるためにも、速度を出しな

がらの緊急時ブレーキのご使用をお控え下さい。上記損傷につきましては当社は責任を負いかね、修理代はお客様のご負担とさせて頂きます。

3. ディスプレイ出荷時設定

スイッチボタンと設定ボタンを同時に押すと、P0・P1 メニューに接続できます。P0 と P1 の切り替えには設定ボタンを押します。

下記の通り、どちらもそれぞれさらに 0 と 1 の 2 つのメニューがあります。

$P0_0$ – キロメートル時速とセ氏温度を表示

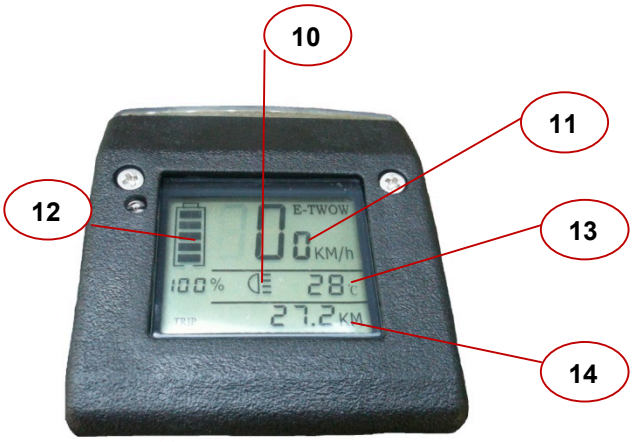
$P0_1$ – マイル時速とカ氏温度を表示

$P1_0$ – 手動ライトモード

$P1_1$ – オートライトモード

ライト電源ボタンを押すと、P0 と P1 で 0 と 1 のメニューの切り替えができます。

設定が終了したら、最後に設定ボタンを押します。



10 – 光センサー

11 – 速度

12 – バッテリー

13 – 温度

14 – 積算距離と走行距離

乗り方

準備

1. 乗るのに適した安全な場所を選びます。
2. 説明書記載の手順に従いスクーターを開きます。
3. 身長に合わせて T-パイプの高さを調整します。

こぎ出し方

1. 電源ボタンを押し電源を入れます。
2. 片足をスクーターに乗せ、もう片方は地面につけておきます。
3. 右側の親指用アクセルを徐々に押し込むと、スクーターはすぐにゆっくりと前進します。順調に動き出したら、地面につけておいた足をペダルに乗せます。深く押すほど、スピードは速まります。

止まり方

1. 通常時、左側の親指用電子磁気ブレーキを押すと、スクーターはすぐに電源が切られ、ブレーキがかかります。深く押すほど、ブレーキの力は強まります。

2. 緊急時、後部ブレーキを踏むと前部電子磁気ブレーキと後部車輪摩擦ブレーキが同時に作動します。通常時には、速度を出しながらの緊急時ブレーキのご使用をお控え下さい。

バッテリーと充電器

Jzoom 電動スクーターは特殊なリチウム電池と高性能充電器が装備されており、付属品には専用番号が付されています。他ブランドの充電器のご使用はお控え下さい。また本充電器は他社製品に適合しません。これらが原因のバッテリーや充電器の損傷に関して、当社は責任を負いかねます。

バッテリー

Jzoom 電動スクーターに初めて乗る前にフル充電にして下さい。
いつでも充電できます。
ご使用されない時も 3 ヵ月に 1 回は充電して下さい。
水をかけたり衝突したりなど、通常のご使用ではない原因に起因するバッテリーの損傷は保証致しかねます。

充電器

弊社では、フル充電になったら自動的に充電が止まるという充電保護機能を兼ね備えた本製品専用充電器を用意しております。充電時間は 3 時間以内です。
水をかけたり衝突したりなど、通常のご使用ではない原因に起因するバッテリーの損傷は保証致しかねます。

充電方法

ゴム製差し込み口保護カバーを開き、 充電器コネクタを差し込みます。
電源ソケットに充電器を差し込みます。
充電器ライトが赤は充電中で、フル充電になると緑に変わります。

お手入れ

潤滑油

半年に一度、ハンドル折りたたみ部に少量の潤滑油を注油して下さい。
また、3 ヵ月ごとに、ねじが緩んでいないかの確認をし、緩んでいたら締めて下さい。

バッテリー

弊社のリチウム電池は少なくとも 500 回は再充電が可能です。通常の使用では 1000 回以上に達します。

保管と日常のお手入れ

スクーターを長時間日光にさらさないで下さい。湿度がかなり高い所での保管もお避け下さい。きれいな状態を保ちましょう。

定期点検

チェックリスト

本製品に問題がある場合は、下記の方法をご参照下さい。

1. LED ディスプレイが真っ黒になる

   原因: 長時間日光にさらした

   解決策: 日陰に置いてしばらくすると正常に戻る

2. 表示の値が実測値に一致しない

   原因: 設定値が間違って設定されているか消されている

   解決策: ディスプレイ出荷時設定を説明書記載の手順に従いながらリセットする

3. デジタルディスプレイが不鮮明になる

   原因: 電池の接触が悪いか電池が切れている

   解決策: 電源を切り再始動する。それでも解決されない場合は、お近くの再販業者にご連絡下さい。

本製品が正常に作動しない時は、下記の作業が終わっているかご確認下さい。

a. 電源を入れる
b. 電力がある場合はディスプレイを見てバッテリー点検をする
c. 左側の親指用電子磁気ブレーキと後部ブレーキを定位置にする
d. 差し込み口やコネクタの穴を正しく接続する

上記の作業が完了していてもまだ正常に作動しない時は、お近くの販売会社・再販業者にご連絡下さい。

製品仕様書

注記: *弊社製品の正しい使用法をお守り下さい。乱用による部分破損及びその他損傷に関して、当社は責任を負いかねます。*

保証期間内であっても、下記事由が原因の故障・損傷などは、品質保証の対象とはなりませんのでご了承下さい。

1. 取扱説明書に従って適切な管理や修理がなされていない。
2. 損傷や機能不全の原因となる超危険行為をするなど、電動スクーターを本来の目的以外で使用する。
3. 分解する。もしくは他社部品を使用する。
4. 誤用、交通事故及び衝突によって、本体や部品を損傷する。
5. 水をかける。部品番号が合わない。
6. 正常ではない道路での乗車により損傷をもたらしたり、使用できなくなったりする。
7. 不正使用や非認可のレンタルをする。
8. 災難等の不可抗力が生じる。